

令和4年度消防施設整備計画実態調査 総括表

東備消防組合消防本部

管轄人口： 46,356 人

消防署： 1 出張所： 3

消防職員数： 101 人

市街地： 1 準市街地： 8 その他の地域： 有

構成市町村数： 2 市町村 →

(市： 1 町： 1 村：)

施設等		区分	全体			市街地	市街地以外	
署 所		算定数 (A)	4 署所			1 署所	3 署所	
		整備数 (B)	4 署所			1 署所	3 署所	
		(B) / (A)	100 %			100 %	100 %	
消防ポンプ自動車	署所管理分 + 消防団管理分	算定数 (A)	23 台			7 台	16 台	
		整備数 (B)	18 台			3 台	15 台	
		(B) / (A)	78.3 %			42.9 %	93.8 %	
	署所管理分	算定数 (A)	5 台			2 台	3 台	
		整備数 (B)	4 台			1 台	3 台	
		(B) / (A)	80.0 %			50.0 %	100.0 %	
	消防団管理分	算定数 (A)	18 台			5 台	13 台	
		整備数 (B)	14 台			2 台	12 台	
		(B) / (A)	77.8 %			40.0 %	92.3 %	
はしご自動車	算定数 (A)	1 台			/	/		
	整備数 (B)	項目に該当する台数	※1	0 台			※1 消防の連携・協力により共同運用し、かつ他消防本部で管理している台数	
			※2	0 台				※2 はしご自動車と同等の機能を有する大型高所放水車を配置し、はしご自動車を配置したものとみなしている台数
			(B) / (A)	100 %				
	化学消防車	算定数 (A)	1 台				/	/
整備数 (B)	内訳	化学消防車	1 台	※3 化学消防車に代えて配置する泡放出装置を備えた消防ポンプ自動車の台数				
		※3	0 台					
(B) / (A)	100 %							
大型化学消防車等 (3点セット)	算定数 (A)	セ ッ			/	/		
	整備数 (B)	0 セ ッ						
	(B) / (A)	— %						
消 防 艇	算定数 (A)	0 隻			/	/		
	整備数 (B)	0 隻						
	(B) / (A)	— %						
救 急 自 動 車	算定数 (A)	5 台			/	/		
	整備数 (B)	5 台						
	(B) / (A)	100 %						
救 助 工 作 車	算定数 (A)	1 台			/	/		
	整備数 (B)	1 台						
	(B) / (A)	100 %						
指 揮 車	算定数 (A)	1 台			/	/		
	整備数 (B)	1 台						
	(B) / (A)	100 %						
非常用消防ポンプ自動車	算定数 (A)	1 台			/	/		
	整備数 (B)	1 台						
	(B) / (A)	100 %						
非常用救急自動車	算定数 (A)	1 台			/	/		
	整備数 (B)	1 台						
	(B) / (A)	100 %						
消 防 水 利	算定数 (A)	1,389 箇所			/	/		
	整備数 (B)	1,087 箇所						
	(B) / (A)	78.3 %						
消防職員	現有台数に対する人員	算定数 (A)	166 人			/	/	
		現員数 (B)	101 人					
		(B) / (A)	60.8 %					

- 「算定数」は、消防力の整備指針に基づいて算定した数。ただし、消防職員については、車両の乗り換え運用や兼務を考慮した数としている。
- 「整備数」は、実際の保有数(非常用を除く)としている。ただし、消防水利はこの限りでない。
- 消防水利について、算定数にあつては消防水利が必要な範囲の数、整備数にあつては当該範囲のうち整備されている範囲の数としている。